

## 日本デジタル歯科学会誌投稿規定

### 1 投稿資格

(一社) 日本デジタル歯科学会 学会誌に投稿する著者は筆頭著者を含めて一般社団法人日本デジタル歯科学会会員 (以下「本会」とする) とする。ただし、編集委員会が認めたものは、この限りではない。

### 2 原稿の種類および内容

- 1) 原稿の種類は、総説、原著論文 (基礎系、技術・開発系、臨床系)、症例報告、技術紹介、その他とし、文頭に明記する。
- 2) 原著論文の内容は、歯科医療におけるデジタル技術の応用に加えて、歯科に関連した機材開発、研究、技工技術、教育などとし、原則として他の刊行物に未発表のものとする。
- 3) 英語論文は、原著論文に限る。様式は和文論文に準ずる。投稿前にネイティブチェックを受けたことの証明が添付される場合には、委員会でのネイティブチェックは原則として行わない。
- 4) 総説は、編集委員会の依頼とする。
- 5) 原著論文は、利益相反 (COI) の状態について表記する。利益相反がない場合には「開示すべき利益相反状態はない」ことを本文の文末に記載する。

### 3 原稿の査読および採否

- 1) 原稿の査読は、編集委員および編集委員会が依頼した専門家が行う。
- 2) 原稿の採否は、査読の結果を参考にして編集委員会が決定する。

### 4 原著論文の投稿様式

- 1) 原稿は、次の順に統一して HP 上に投稿する (オンライン投稿)。
- 2) 原稿は、タイトル(和文、英文)、和文抄録(300 字以内)、和文キーワード (3-5 個)、英文抄録(200words 以内)、英文キーワード (3-5words 和文キーワードに対応)、本文、文献、図表の表題と説明 (和文、英文)、表、図から構成される。執筆ボリュームは、約 8000 字以下 (図表含む 図表 1 点につき 400 字程度) とする。
- 3) マイクロソフト・ワード (.doc, .docx) にて入力を行う。
- 4) 本文構成は原則として、緒言(緒論)、方法(材料および方法)、結果、考察(結果および考察)、結語(結論)、文献とする。
- 5) タイトル(表題について)ページについて
- 6) 最初のページを表題(タイトル)のページとして、原稿の種類を文頭に明記した上で、タイトル、ランニングタイトル、著者(共著者含む)、所属を記し、続けて連絡先 (氏名、住所、電話番号、Fax 番号、メールアドレス) を含めてすべて和文と英文にて記す。

- (1) 表題は、論文内容を的確に表すものとする。

- (2) 一般に固有名詞として通用していない商品名は用いない。
- (3) 英文表題は、和文表題の内容と一致させる。
- (4) ランニングタイトル(30字以内)を別につける。

6) 本文について

- (1) 原稿は A4 サイズに MS 明朝で 12 ポイントの文字サイズで記す。1 頁 35 字×30 行, 右スペースを 25mm とする。MS Word をソフトとして用い、doc または.docx ファイルにて作成する。  
なお、ファイル名は「投稿原稿タイトル-著者名」とする。数字、英字はすべて半角で入力する。英文では Arial もしくは Times New Roman フォント、12 ポイントの文字を用いてダブルスペースで作成する。スペースは半角とする。
- (2) 原稿の下段中央にページ番号を記す。
- (3) 見出しを用いるときは次の順に項目をたてる。  
3→3)→(3)→ a → a) →(a)
- (4) 数字はアラビア数字とし、単位の記号は JIS・Z8202 および Z8203 に準じ、国際単位系 (SI) を使用するよう努める。  
例：GHz, MPa, kW, cm, mV,  $\mu\text{m}$ , nA, pF, ml, mmol, N, K, min, cm・sec・deg
- (5) 学術用語は、原則として「文部科学省 学術用語集」にしたがって表記する。  
例：強度→強さ、硬度→硬さ、抗張力→引張強さ、治具→ジグなど
- (6) 商品名、器械名などは、可能な限り一般名を用い、メーカー表示に準じる。
- (7) 統計処理については用いた統計手法、有意水準 (例: $\alpha=0.05$ ) あるいは危険率 (例: $p<0.05$ ) などを記載する。

7) 図表について

- (1) 図や写真は刷り上り寸法以上、解像度は 300dpi 以上とし、jpg, ppt, xls, pdf ファイルとする。
- (2) 図表は片段か両段一杯になることが望ましく、刷り上がりを想定して図の大きさが片段で横幅 65 ~ 75 mm, 両段で 140 ~ 150 mm になるように縮小コピーし、文字、記号の大きさ、線の太さなどをチェックすること。図中の文字は、刷り上がりで本文とほぼ同じ 10 ~ 13 級 (7 ~ 9 ポイント)、線の太さは 0.15 ~ 0.3 mm になるよう原図を作成する。
- (3) 写真の拡大率は、必要に応じて原図中の右下に単位長さのバーで表す。
- (4) 記号は中心の明確な○●□■◇◆などを使用する。
- (5) 記号を使用する場合の凡例は、脚注に置かずに図中に入れる。
- (6) 原図が規定に沿わないときは、編集委員会が再提出を求めるか、もしくは有料のトレースを依頼することがある。
- (7) 表中の標準偏差は、( ) もしくは $\pm$ とし、信頼区間との混同を避けるために説明を入れる。

- (8) 表題が英文字の場合は書き出しのみを大文字にし、それ以後は小文字とする。略号はその限りではない。
- (9) 単位などの表記は同一言語に統一する。単位 (unit), 平均 (mean), 標準偏差 (SD)
- 8) 文献について
- (1) 文献は、本文中の引用箇所の肩に引用した文献番号を付け本文の末尾に一括して掲載する。体裁は, <sup>1,2)</sup>, <sup>1-3)</sup>, のようにする。
- (2) 文献として不適当なもの, 例えば未公表のデータや私信などは文献として引用しない。
- (3) 文献の記載方法の基本は次のとおりとする。

#### 雑誌の場合

著者名 (原則として6名までは全員)。表題-サブタイトル。雑誌名 発行年; 巻 (号\*) : 引用ページの初めと終わり。\*ページ表記が1号ごとに1ページから始まる雑誌 (通しページでない) に限り, 号も記載

例: 末瀬一彦. 保険診療に導入された「CAD/CAM 冠」の初期経過に関する調査研究. デジタル歯科学会誌 2015 ; 5 : 85-93.

#### 単行本の場合

著者名. 書名. 版数 : 発行所名 ; 発行年. 引用ページの初めと終わり。

例: Anusavice KJ, Shen C. Rawls HR. Phillip's science of dental materials. 12th ed. W.B. Saunders; 2012. p. 255-275.

#### 分担執筆の場合

分担執筆者名. 分担執筆の表題. 編者または監修者. 書名. 巻などの区別 : 発行所名 ; 発行年. 引用ページの初めと終わり。

例: 荘村泰治. CADにおける設計. 日本歯科 CAD/CAM 学会・全国歯科技工士教育協議会. CAD/CAM デジタルテクノロジー : 医歯薬出版 ; 2012. 56-61.

#### 翻訳書の場合

著者(翻訳者). 書名(翻訳書名. 発行所名 : 発行年 ; 引用ページの初めと終わり) ; 発行年

例: S.F. Rosentiel. M. F. Land. J. Fujimoto (藤本順平). Contemporary fixed prosthodontics 4<sup>th</sup> ed. (クラウンブリッジの臨床 第3版. 医歯薬出版 ; 2010 : p.34-55 ; 2000.

### HPからの引用の場合

ページタイトル. ウェブサイト名. 入手先 URL. (検索日).

例: 平成 26 年社会医療行為別調査の概況. 厚生労働省.

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/sinryo/tyosa14>. (2017 年 2 月 6 日)

### 規格の場合

規格名略号 規格番号—制定年. 規格タイトル名. 発行所名

例: JIS T 6120-2014. 歯科鑄造用金合金. 日本規格協会

#### 9) 倫理規定について

ヒトなどを対象とした実験について報告する場合には、ヘルシンキ宣言を厳守して、倫理的に行われており、被験者あるいは患者のインフォームドコンセントが得られていなければならない。また、当該所属の研究機関の倫理委員会の承認を得たものであることを論文中に明示するとともに、証明書稿提出の際に添付する。当該所属に倫理委員会が無い場合には、編集委員会に申し出て指示に従う。

#### 6 証明書などの発行

- 1) 原稿の受付日は、オンラインで投稿した日付とする。
- 2) 原稿の受理証明書は、採用が決定したのちに著者に電子メールで周知する。

#### 7 掲載料

(一社) 日本デジタル歯科学会 学会雑誌への投稿にあたっての投稿料は著者負担とし、別途規定する。

#### 8 著作権

本誌に掲載された論文の著作権(著作財産権, **copy right**)は、(一社) 日本デジタル歯科学会に帰属する。

#### 9 その他

この規定および投稿の手引きに規定されていない事項については、別に編集委員会で決定する。

#### 補則

- 1 本学会雑誌(電子ジャーナルも含む)投稿料は、1 論文につき 1 頁 5,000 円とする(ただし、編集委員会が認めたものについてはこの限りではない)。

- 2 図，表，写真，トレース，文字写植，カラー刷り，著者責任による組替えおよび別刷りは，すべて著者負担とする.
- 3 本則の改訂は編集委員会の議を経て理事会の承認を受けるものとする.

平成 29 年 5 月 13 日発行

平成 29 年 7 月 30 日一部改正

(一社) 日本デジタル歯科学会 編集委員会